

第42回県高校総体開催!

53校の選手 堂々の行進!



平成27年度第42回宮崎県高等学校総合体育大会が、5月30日(土)から6月7日(日)まで開催されました。

開会式当日は、雨の心配もありましたが、行進をした選手団(53校、役員432名、選手3506名)3938名のエナジーがその心配を吹き飛ばしてくれました。

また、今大会から、高文連との統一スローガンを公募しましたが、830点の応募の中から最優秀賞には竹下悠君(日南高校)の「青春MAX!この瞬間瞬間 無限大! 輝く未来にいざ羽ばたけ!」が無敵大! 輝く未来にいざ羽ばたけ!」が選考され、総合開会式に先立ち表彰されました。引き続き、宮崎大宮高校ダンス部のアトラクション、5校(宮崎西、宮崎北、宮崎南、宮崎商業、宮崎第二)の吹奏楽と7校(宮崎大宮、宮崎南、宮崎北、宮崎西、本庄、日向学院、宮崎第一)の合唱隊による「宮崎県民歌」の演奏が披露されました。高体連と高文連

平成27年度高体連・高文連統一スローガン

青春MAX!この瞬間瞬間 無限大! 輝く未来にいざ羽ばたけ!

が各種活動においての一体感と互いの親睦を深め、本県高校生部活動の更なる活性化を予感させるものになったと思います。

総合開会式は、昨年度から参加する役員・選手の負担軽減を図るため、学校規模に応じた入場行進数に変更になり、役員・生徒をあわせて3938名(昨年度3934名、一昨年度4969名)となり、この形が定着しつつあると感じました。また、入場行進からは、各学校の本大会にかける意気込みが伝わる入場行進や堂々とした選手宣誓(都城工業高校少林寺拳法部鳴海洸君)等、運動部活動に打ち込む元気な高校生姿を県民にアピールすることができました。

競技は、県内54校から選手9594名(昨年度9599名)、競技役員1334名、補助員1658名の総計12586名が参



加して、KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園をメイン会場に県内4市4町51会場で熱戦が展開されました。どの競技でも高校生の瞬間瞬間(トキメキ)の姿がまぶしく感じられた大会でした。大会に関わった全ての皆様に深く感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。



宮崎県高等学校体育連盟 会長 谷口英彦

昨年度を上回る大会新記録!!

大会新記録26個



各競技会場でも好試合が展開され、記録競技においては、陸上競技で3個、水泳競技で12個、ウェイトリフティングで11個の合計26個の大会新記録(県高校新記録3個を含む)が生まれ、昨年の21個を上回りました。また、空手道組手女子団体において宮崎第一高校が27年連続で優勝するなど強化推進校が順当に力を発揮した種目のほか、バレーボール男子では延岡工業高校が35年ぶりに優勝するなど強豪校が復活した種目、同じく女子では鵬翔高校が初優勝するなど新興勢力の台頭も目立った大会でもありました。目標に向かって全力で取り組む真摯な姿は、大会関係者のもとより県民の皆様にも夢と感動を与えてくれたと思います。

第5号

宮崎energy!

energyには、気力、元気、力、勢い、精力という意味があります。宮崎の高校生のエナジーをこの便りで発信していきます!



発行 宮崎県高体連 発行所 高体連事務局

問い合わせ 宮崎県高等学校体育連盟事務局 〒880-0926 宮崎市月見ヶ丘5-2-1 TEL0985(51)4109 FAX0985(51)4298 E-mail info@miyazaki-koutairen.com

印刷 株式会社エスアイエス

爽やかな選手宣誓と生徒代表あいさつ



生徒代表 日向学院高校 生徒会長 大迫 珠里さん
第42回宮崎県高等学校総合体育大会がいよいよスタートします。誰もがこの日のために、たゆまぬ努力をしてきました。一人一人にこの日までの物語があったことでしょう。私にも3年間の物語があります。そして今日その物語はクライマックスを迎えようとしています。私たちの大会は一地方の小さな大会にすぎないかもしれませんが、私たちの一つ一つのプレーは全て社会や世界とつながっています。…(略) 私たち一人ひとりの物語を完成させましょう。最後に私たち高校生のためにこのような素晴らしい舞台を用意して下さいました。みなさんががんばりましょう。



選手代表 都城工業高等学校 少林寺拳法部 主将 鳴海 洸君
宣誓 私たち選手一同は 素晴らしい自然に恵まれたこの宮崎の地で常に切磋琢磨し 練習に励んできました。そこでは 勝つ喜び 負ける悔しさを味わいながら 仲間との絆 そして スポーツの技能だけではなく 努力すれば夢は必ず実現する ということを学んできました。…(略) 青春をこの一瞬にかけ宮崎に元気と感動を与えることができるよう 最後まで誠心誠意プレーすることを誓います。



今年度から、統一スローガンを県下の高校生に公募しました。830点の中から「青春MAX!この瞬間瞬間 無限大! 輝く未来にいざ羽ばたけ!」で最優秀賞に選ばれた、日南高校 3年 竹下 悠君です。スローガンの選考会では、選考委員の先生方から「高校生らしい、ハツラツとしたスローガン」との評価を得ました。おかげで大会もMAXに盛り上がりました(^_^)

おめでとう!



裏方 Eyes プラカードを担当してくれた。宮崎日大高校女子生徒の皆さんです。学科は問わず、1~3年の中から募集し、100名近い希望者の中から65名がセレクションで選ばれました。

たくさん練習を積んだそうです。ありがとうございました。



アトラクションを担当してくれた。宮崎大宮高校ダンス部の皆さんです。ムーブメントアートイン宮崎で女子体育連盟賞を受賞した作品を披露してくれました。

エナジーリレー 日向高等学校

宮崎県立日向高等学校は、昨年創立40周年を迎えました。現在、普通科とフロンティア科で657名の生徒が進路実現のため切磋琢磨し合っている日々充実した学校生活を送っています。本校は、「宮崎県でもっとも生徒を伸ばす学校」として、激変する社会に対応し、授業や課外だけでなく、部活動や学校行事、キャリア教育を通して人間力を培い、10年後、20年後の進路実現のできる力を培っている学校です。また、「文武両道」をモットーに部活動にも力を入れていきます。県内の進学校の中でも、部活動が盛んで、部活動加入率は、80%を誇り、県大会上位入賞をしています。平日は、学校が終わるのが午後4時55分頃であり、毎日2時間程度の決して十分とはいえない短い時間の中で練習を工夫しながら、技術向上はもろんのこと、人格形成にも努めています。その結果、全国で活躍する部活動が増えてきています。

また、本校の正門前に200m程の坂があります。これを「希望の坂」と呼んでいますが、毎朝生徒たちは、自転車を押しながら登校しています。3年間毎日この坂を上る訳ですから、相当な体力と精神力がきます。この「希望の坂」を上る10分こそが部活動の盛んな日向高校を支えていると言っても過言ではありません。輝かしい実績にも繋がっているといえます。生徒たちは、「希望の坂」を上る度に、「越えなければならぬ坂がある。越えなければ見えない風景がある」と自分を励ましなが、日々頑張っています。

